

令和4年度事業報告書

I 事業実施の概要

当基金協会は、畜産農家の経営安定のため、主事業の配合飼料価格差補てん事業及び受託事業の畜産高度化支援リース事業、畜産高度化支援補完リース事業、肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定交付金制度並びに肉豚経営安定交付金制度等を実施した。

- (1) 配合飼料価格差補てん事業では、平成 26 年度から補てん金算定方法が、四半期の平均輸入原料価格が、当該四半期直前の 1 年間の基準輸入原料価格に比べ高い場合、その差額を補てんする方法へ変更となった。

このような中、令和 4 年度の飼料原料穀物については、中国などで需要が旺盛なことに加えて、ロシアのウクライナ侵攻による穀物流通量の減少や、歴史的な円安もあって高騰が続いている。

こうした状況のもと、令和 2 年度の第 4 四半期から 8 四半期連続して高額の補てん金が支出されている。

さらには、飼料価格の高騰による畜産経営への影響緩和を目的とした特別対策事業(国庫)や佐賀県独自の事業が創設された。

- (2) 畜産高度化支援リース事業については、令和 4 年度は 1 件の貸付を行うとともに、これまでの貸付物件に対する償還金について借受者への請求及び同返済金の(一財)畜産環境整備機構への送金事務等を行った。
- (3) 畜産高度化支援補完リース事業については、令和 4 年度の新規貸付はなかったものの、これまでの貸付物件に対する償還金について借受者への請求及び同返済金の(一財)畜産環境整備機構への送金事務等を行った。
- (4) 肉用子牛生産者補給金制度については、子牛価格が保証基準価格を下回らなかったことから黒毛和種及び交雑種について補給金交付は実施されなかった。
- (5) 肉用牛肥育経営安定交付金制度について佐賀県は、肉専用種は地域算定、交雑・乳用種は全国算定を適用している。

このような中、肉専用種は高価格の子牛の出荷が始まったことや牛肉価格が低迷したことなどから、8 月以降連続して交付金の発動が続いている。

- (6) 肉豚経営安定交付金制度は、令和 3 年度から令和 5 年度までの 3 カ年事業として実施している。本年度の豚肉価格は高値で推移しており、第 1 四半期、第 1～2 四半期、第 1～3 四半期のいずれも補てん金の発動はなかった。

このような状況の下、一般社団法人として畜産経営者及び関係者の付託に応えるため、関係者のご協力のもと、配合飼料価格安定制度の円滑な運営をはじめ、畜産経営の安定を図るための諸事業の実施に努めています。

II 事業実績

1. 配合飼料価格差補てん事業

①事業の内容

四半期の飼料原料穀物(トウモロコシ等 5 品目)の平均輸入原料価格が当該四半期直前 1 年間の基準輸入原料価格を上回った場合に、加入生産者と飼料製造業者で積み立てた基金を取り崩し、その差額を補てん(通常補てん)する事業である。

この場合に輸入原料が異常に高騰した場合には、国と飼料製造業者で積み立てた基金を取り崩し補てん(異常補てん)することとなっている。

②令和 4 年度の価格差補てん契約締結状況

基本契約締結(価格差補てん契約)件数、数量は次のとおりで、契約数量(年度当初)は 104,191 トンで、途中解約による数量変更があり、最終契約数量は 103,723 トンとなった。

令和4年度補てん契約の状況

(単位:件、トン)

区分		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
契約数量等 (年度当初)	契約件数	127	127	127	127	127
	契約数量	25,746	25,468	27,679	25,298	104,191
途中解約*	契約件数	0	0	0	△3	△3
	契約数量	0	0	0	△138	△138
数量変更**	契約件数	0	0	0	1	1
	契約数量	0	0	0	△330	△330
基金間移動 (転入)	契約件数	0	0	0	0	0
	契約数量	0	0	0	0	0
基金間移動 (転出)	契約件数	0	0	0	0	0
	契約数量	0	0	0	0	0
変更後の 契約数量等	契約件数	127	127	127	124	124
	契約数量	25,746	25,468	27,679	24,830	103,723

上の表の*印の途中解約の理由

(単位:件、トン)

区分	乳用牛		肉牛		豚		採卵鶏		肉用鶏	
	件数	数量	件数	数量	件数	数量	件数	数量	件数	数量
購入取り止め							1	36		
廃業					1	90	1	12		

**印の数量変更の理由 鳥インフルエンザ1件330トン

畜種別の最終契約数量及び加入者数

(単位:トン、人、%)

区分		乳牛	肉牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	うずら	計
契約数量	4年度	2,592	27,732	21,766	10,978	40,655	0	103,723
	3年度	2,356	26,313	23,001	12,694	39,905	0	104,269
加入者数	4年度	8	79	16	17	4	0	124
	3年度	8	77	18	20	4	0	127
4年畜種別数量割合		2.5	26.7	21.0	10.6	39.2	-	100.0
数量対前年比		110.0	105.4	94.6	86.5	101.9	-	99.5
加入者対前年比		100.0	102.6	88.9	85.0	100.0	-	97.6

③令和4年度の補てん積立金および別途納付金の納付状況

通常補てん積立金単価は、加入生産者がトン当たり600円、配合飼料製造業者が特別積立金を含み1,200円で、また、新規加入者の別途納付金はトン当たり0円、前年度第2・第3・第4四半期に解約をして改めて加入した者はそれぞれ940円、2,060円、3,040円であった。当基金協会が受け入れた加入生産者の積立金の総額は62,233,800円で、(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金へ納付した。

令和4年度の積立金、別途納付金の納入状況

(単位:トン、円)

区分		契約数量	単価	納付金額	備考(件数)
積立金	第1四半期	25,746	600	15,447,600	127
	第2四半期	25,468	600	15,280,800	127
	第3四半期	27,679	600	16,607,400	127
	第4四半期	24,830	600	14,898,000	124
別途納付金		(0)	0	0	(0)
合計		103,723	-	62,233,800	

④令和4年度の価格差補てん金の交付状況

配合飼料の主原料であるとうもろこしは年初始めから上昇傾向で推移し8月をピークに低下傾向、一方、大豆油粕は8月以降上昇傾向、他の3品目(ごりゃん、小麦、大麦)は9月以降上昇傾向であり、くわえて、為替相場についても総じて円安傾向であることから、配合飼料の平均輸入原料価格は、近年にない高値で推移しています。

こうした状況のもと、飼料原料穀物(5品目)の平均輸入価格は、令和3年度第4四半期が約42千円であったものが令和4年度第3四半期では63千円へと急激に上昇し、異常補てんを含む高額な補てんの発動が続いています。

このようなことから、令和3年度第4四半期から令和4年度第3四半期まで連続して補てん金が支払われており、当基金協会だけでも124名に対して約716百万円の補てん金の支払いを行ったところです。

補てん金発動状況 (単位：kg、円)

		3年度第4四半期	4年度第1四半期	4年度第2四半期	4年度第3四半期	4年度第4四半期
補てん 単 価	通常補てん金	3,451	5,039	5,454	7,254	未定
	異常補てん金	1,749	4,761	11,346	496	
	計	5,200	9,800	16,800	7,750	
	分割交付単価	-	6,023	13,970	4,933	
補てん対象数量		23,418,241	24,729,046	22,843,249	26,009,573	
補てん金振込総額		121,774,815	148,943,007	322,866,092	122,564,806	

2. 令和4年度配合飼料価格高騰緊急特別対策事業

①事業の内容

昨今の国際情勢の影響により、配合飼料価格が大幅に上昇して畜産経営を圧迫していることから、生産コストの削減や飼料自給率の向上の取組を実施する畜産経営体に対して、補てん金制度による令和4年度第3四半期の補てん金とは別に特別補てん金を交付する。

令和4年度第3四半期の交付状況 (単位：kg、円/t 円)

対象数量	単価	特別補てん金総額
26,002,233	6,750	175,515,069

3. 令和4年度配合飼料価格高騰対策緊急特別支援事業

①事業の内容

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により配合飼料価格が高騰し、経営が悪化している畜産農家等の営農意欲の維持と経営安定を図るため、配合飼料価格安定制度に加入しており、かつ、飼料購入費の縮減につながる取組を行う佐賀県内に農場を有している畜産農家等に対し、生産者積立金の一部を補助する。

令和4年度の交付状況 (単位：t、円/t 円)

対象数量	単価	補助金総額
103,715	200	20,743,000

4. 畜産高度化支援リース事業

①事業の内容

畜産経営に係る環境の整備及び飼養管理の省力化のための機械を導入して畜産経営の健全な発展を図る目的で、一般財団法人畜産環境整備機構(以下「機構」)が行なっている当該施設・機械等を貸し付ける事業の一部を機構からの委託を受けて実施した。

②令和4年度実施状況

ア.畜産高度化支援リース事業については、肉用牛生産者にローダー(経営リース)の貸付が1件あった。
くわえて、令和4年度までに対応したリース事業に係る令和4年度返還状況は、次のとおりである。

令和4年度返済金償還状況 (単位:件、円)

区 分	計画(予定)		返済状況		返済予定状況	
	件数	償 還 金 額	件数	償 還 金 額	件数	償 還 金 額
堆肥調整保管リース	3	532,718	3	532,718	0	0
経営リース	2(5)	919,688	2(5)	919,688	0	0
環境リース	1	1,796,556	1	1,796,556	0	0
計	6(5)	3,248,962	6(5)	3,248,962	0	0

件数の()内数値は、年払いの延べ回数

5. 畜産高度化支援補完リース事業

①事業の内容

国際競争力の強化を進める多様な畜産経営を実現する目的で、環境対策や生産性向上のために必要な施設機械等を貸し付ける一般財団法人畜産環境整備機構(以下「機構」)が行なっている事業の一部を機構から委託を受けて実施した。

②令和4年度実施状況

ア.畜産高度化支援補完リース事業については、借受の要望はなかった。
また、対応したリース事業に係る令和4年度返還状況は、次のとおりである。

令和4年度返済金償還状況 (単位:件、円)

区 分	計画(予定)		返済状況		返済予定状況	
	件数	償 還 金 額	件数	償 還 金 額	件数	償 還 金 額
クラスターリース	6(13)	1,418,225	6(13)	1,418,225	0	0

件数の()内数値は、年払いの延べ回数

6. 肉用子牛生産者補給金制度

①事業の内容

肉用子牛生産者の経営安定を図るため、子牛販売価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に国からの補給金を、さらに合理化目標価格を下回った場合は積立金(国、県、生産者で積立)を取り崩して生産者に対し生産者補給金を交付する事業で、事業実施主体の(公社)佐賀県畜産協会から業務の一部委託を受けて実施した。

なお、令和4年度の参加生産者、登録頭数、および生産者積立金は次のとおりである。

令和4年度事業参加者状況 ()内は当初年間計画 (単位:頭、円)

		交雑種	黒毛和種	乳用種	計
参加生産者		1(1)			1(1)
登録申込頭数		0(0)	11(5)	0(0)	11(5)
登録頭数		0(0)	9(5)	0(0)	9(5)
積立金	頭 数	0	10	0	10
	単 価	800	400	1,700	—
	金 額	0	4,000	0	4,000

②令和4年度の生産者補給金の発動状況

令和4年度第1四半期から第3四半期までの平均売買価格および補給金単価は次のとおりで、いずれの畜種も子牛価格の高騰から補給金交付はあっていない。

令和4年度保証基準価格、合理化目標価格および補給金の発動状況 (単位:円)

区分	畜種	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専	乳用種	交雑種
保証基準価格		541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格		429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
第1四半期	平均売買価格	668,500	553,100	—	210,000	293,300
	補給金単価	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	—
	補給金交付額	—	—	—	—	—
第2四半期	平均売買価格	605,400	536,800	—	149,500	275,400
	補給金単価	—	—	—	14,500	—
	交付対象頭数	—	—	—	0	—
	補給金交付額	—	—	—	—	—
第3四半期	平均売買価格	614,000	534,100	—	127,400	301,400
	補給金単価	—	—	—	36,600	—
	交付対象頭数	—	—	—	0	—
	補給金交付額	—	—	—	—	—

注1) 「その他肉専用種」については、令和2年度から算定期間は1年(4月～3月)となっている。

注2) 第4四半期については未定

7. 肉用牛肥育経営安定交付金制度

①事業の内容

肉用牛肥育経営の安定を図るため、生産者が事前に登録した肥育牛を販売し、1頭あたりの月平均粗収益が月平均生産費(生産コスト)を下回った場合、その差額の最大9割を品種区分別に国、県、生産者が積み立てた基金を取り崩し、肥育交付金として交付する制度である。

当基金協会は、積立金管理者である(公社)佐賀県畜産協会から業務の一部委託を受けて実施した。

なお、令和4年度の参加生産者数、登録頭数・販売頭数および生産者負担金は次のとおりであった。

令和4年度登録申込頭数及び生産者負担金納入等状況 ()内は当初年間計画 (単位:名、頭、円)

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計	備考(期間)		
参加生産者	16(16)			16(16)	4.4～5.3月		
登録申込頭数 (6～13カ月令)	3,404 (3,100)	20(0)	0(0)	3,424(3,100)	〃		
販売頭数 (販売時)	3,328(3,100)	0(0)	0(0)	3,328(3,100)	〃		
負担金納付頭数 (20～25カ月令)	1	3,300	3	0	3,304	〃	
生産者 負担金	単価	3,750	13,500	17,850	18,100	—	〃
	金額	3,750	44,550,000	53,550	0	44,607,300	〃

②令和4年度の交付金の発動状況

算定方法は、肉専用種は地域算定、交雑種、乳用種は全国算定で、発動状況は次のとおりとなっており、交付金は、(公社)佐賀県畜産協会から直接生産者へ交付されている。

令和4年度交付金発動状況と交付金単価及び交付金総額

(単位:円、頭)

月	区分	肉専用種(地域)	交雑種(全国)	乳用種(全国)
R 4 年 1 月	標準的販売価格(A)	1,233,060	711,650	452,170
	標準的生産費(B)	1,072,994	700,086	508,054
	差額(C)=(A)-(B)	160,066	11,564	△55,884
	交付金単価(D)= C ×0.9	-	-	50,295.6
	交付対象頭数	-	-	0
	交付金	-	-	0
2 月	標準的販売価格(A)	1,194,604	687,377	447,817
	標準的生産費(B)	1,075,571	701,288	504,544
	差額(C)=(A)-(B)	119,033	△13,911	△56,727
	交付金単価(D)= C ×0.9	-	12,519.9	51,054.3
	交付対象頭数	-	0	0
	交付金	-	0	0
3 月	標準的販売価格(A)	1,221,928	718,076	444,221
	標準的生産費(B)	1,078,239	697,084	500,050
	差額(C)=(A)-(B)	143,689	20,992	△55,829
	交付金単価(D)= C ×0.9	-	-	50,246.1
	交付対象頭数	-	-	0
	交付金	-	-	0
4 月	標準的販売価格(A)	1,269,964	765,903	454,395
	標準的生産費(B)	1,110,954	686,601	498,732
	差額(C)=(A)-(B)	159,010	79,302	△44,337
	交付金単価(D)= C ×0.9	-	-	39,903.3
	交付対象頭数	-	-	0
	交付金	-	-	0
5 月	標準的販売価格(A)	1,213,369	750,114	463,073
	標準的生産費(B)	1,114,219	724,986	510,034
	差額(C)=(A)-(B)	99,150	25,128	△46,961
	交付金単価(D)= C ×0.9	-	-	42,264.9
	交付対象頭数	-	-	0
	交付金	-	-	0
6 月	標準的販売価格(A)	1,233,016	724,691	463,955
	標準的生産費(B)	1,117,686	759,068	512,724
	差額(C)=(A)-(B)	115,330	△34,377	△48,769
	交付金単価(D)= C ×0.9	-	30,939.3	43,892.1
	交付対象頭数	-	0	0
	交付金	-	0	0
7 月	標準的販売価格(A)	1,251,485	725,711	470,022
	標準的生産費(B)	1,193,111	763,670	512,657
	差額(C)=(A)-(B)	58,374	△37,959	△42,635
	交付金単価(D)= C ×0.9	-	34,163.1	38,371.5
	交付対象頭数	-	0	0
	交付金	-	0	0
8 月	標準的販売価格(A)	1,159,634	697,658	469,295
	標準的生産費(B)	1,196,478	745,726	518,687

	差額(C)=(A)-(B)	△36,844	△48,068	△49,392
	交付金単価(D)= (C) ×0.9	33,159.6	43,261.2	44,452.8
	交付対象頭数	236	0	0
	交付金	7,825,662	0	0
9月	標準的販売価格(A)	1,180,731	704,291	471,089
	標準的生産費(B)	1,200,213	728,244	516,043
	差額(C)=(A)-(B)	△19,482	△23,953	△44,954
	交付金単価(D)= (C) ×0.9	17,533.8	21,557.7	40,458.6
	交付対象頭数	237	0	0
	交付金	4,155,507	0	0
10月	標準的販売価格(A)	1,230,334	722,141	479,135
	標準的生産費(B)	1,263,039	733,576	526,924
	差額(C)=(A)-(B)	△32,705	△11,435	△47,789
	交付金単価(D)= (C) ×0.9	29,434.5	10,291.5	43,010.1
	交付対象頭数	274	0	0
	交付金	8,065,051	0	0
11月	標準的販売価格(A)	1,246,414	725,541	478,075
	標準的生産費(B)	1,267,242	727,503	519,147
	差額(C)=(A)-(B)	△20,828	△1,962	△41,072
	交付金単価(D)= (C) ×0.9	18,745.2	1,765.8	36,964.8
	交付対象頭数	397	0	0
	交付金	7,441,840	0	0
12月	標準的販売価格(A)	1,265,179	746,027	474,719
	標準的生産費(B)	1,271,354	718,625	529,348
	差額(C)=(A)-(B)	△6,175	27,402	△54,629
	交付金単価(D)= (C) ×0.9	5,557.5	-	49,166.1
	交付対象頭数	313	0	0
	交付金	1,739,496	0	0
令和4年 1~12月 合計	交付対象頭数	1,457	0	0
	交付金	29,227,556	0	0

8. 肉豚経営安定交付金制度

①事業の内容

(独)農畜産業振興機構(機構)が事業主体で、養豚生産者の経営安定を図るため、養豚生産者の平均収益が、平均生産コストを下回った場合、その差額の9割を国、県及び生産者の負担金による基金を取り崩し、契約生産者に対して交付金を交付する制度で、機構への事業の参加申し込み、販売頭数報告等について、生産者から委託を受けて行った。

なお、令和4年度の事業参加状況は、次のとおりである。

令和4年度 受託生産者等および負担金納入状況 (単位:頭、円)

区 分		令和4年度(当初計画)	備 考
参加生産者		7(9)	4.4~5.3月
事業対象頭数		23,107(23,000)	年間
負担金	頭 数	23,107	4.4~5.3月
	単 価	300	〃
	金 額	6,932,100	〃

②令和4年度の交付金の発動状況

四半期毎に交付金額を算定し、発動がなかった場合は次の期に持ち越して算定することになっている。
令和4年度第1～3四半期までいずれの期も交付金の発動があつてない。

令和4年度交付金発動状況、交付金単価等

(単位:頭、円)

区 分	第1四半期	第1・2 四半期	第1～3 四半期	第1～4 四半期
標準的販売価格(A)	40,707	42,428	42,008	未定
標準的生産費(B)	38,233	38,830	39,429	
差額(C)=(A)-(B)	2,474	3,598	2,579	
交付金単価(C)×0.9	—	—	—	
交付対象頭数	—	—	—	
交付金	—	—	—	

9. その他の事業・業務等

①飼料・畜産および家畜衛生情報の伝達

飼料価格差補てん事業等の情報および家畜伝染病の発生情報等を関係会員へメール等を用いて伝えた。

②各種会議、行事への参加・出席

次のとおり、会議、研修会等へ参加出席した。

令和4年度主な会議等の出席状況(令和5年3月31日現在)

開催年月日	内 容
R4.4.19	令和4年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る推進会議 (佐賀市:佐賀県畜産協会主催)
4.19	令和4年度肉用牛肥育経営安定交付金制度推進会議(佐賀市:佐賀県畜産協会主催)
6. 9	令和4年度社会保険事務講習会(佐賀市:佐賀県社会保険協会)
6.16	令和4年度肉用子牛生産者補給金制度推進会議(佐賀市:佐賀県畜産協会主催)
6.16	佐賀県養豚協会会計監査(佐賀市:佐賀県養豚協会主催)
6.17	全日基第49回定時総会(東京都:全日基主催)
6.27	佐賀県畜産協会通常総会(佐賀市:畜産協会主催)
6.27	佐賀県養豚協会総会(佐賀市:佐賀県養豚協会主催)
7. 4	令和4年度配合飼料価格高騰対策緊急特別支援事業説明会(佐賀市:佐賀県畜産課主催)
7.5～6	山口・九州地区連絡協議会常務理事会(鹿児島市:連絡協議会主催)
7.5～6	全日畜ワークショップ(農畜連携による地域資源の有効な循環を考える(鹿児島市:全日畜主催)
7.11	第25回佐賀県畜産共進会に係る運営委員会(佐賀市:佐賀県畜産協会主催)
7.22	令和4年度配合飼料価格高騰対策緊急特別支援事業に係る担当者会議 (佐賀市:基金協会主催)
7.28	畜産高度化支援リース事業等推進全国会議(ZOOMによる会議:畜産環境整備機構主催)
11.8	配合飼料価格高騰対策緊急特別対策事業説明会(ZOOMによる会議:農林水産省畜産局)
11.9	山口・九州地区連絡協議会事務職員会議(ZOOMによる会議:連絡協議会主催)
11.24	山口・九州地区連絡協議会理事長・常務理事会(ZOOMによる会議:連絡協議会主催)
12. 2	令和4年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る推進会議 (佐賀市:佐賀県畜産協会主催)
12. 9	令和4年度配合飼料価格安定基金運営実態調査(福岡市:フィードワン荷受組合)
12.16	令和4年度配合飼料価格安定基金運営実態調査(有田町:池田洋一商店)
R5.1.10	令和4年度価格対策事業に係る業務推進会議(佐賀市:佐賀県畜産協会主催)
2. 1	令和4年度配合飼料価格安定基金運営実態調査(小城市:肥前糧食株式会社)
2.10	さが畜産GO×2プロジェクト研修会(佐賀市:佐賀県畜産課主催)
3.22	佐賀県畜産協会臨時総会(佐賀市:畜産協会主催)

10. 会議の開催

令和4年度総会・理事会等の開催状況

会議名	開催日	審議内容等
監事会 (当基金協会会議室)	4.4.27	1. 令和3年度事業報告及び計算書等の監査
第1回理事会 (佐賀市：グランデはがくれ)	4.4.27	1. 令和4年度定時総会開催の承認について 2. 同総会に付議すべき事項の承認について
定期総会 (佐賀市：グランデはがくれ)	4.5.24	[決議事項] 1. 令和3年度事業報告及び計算書等の承認 2. 令和4年度入会金、会費、委託手数料の額及び徴収方法の承認 3. 役員を選任について 4. 令和4年度役員報酬総額の承認について [報告事項] 1. 令和4年度事業計画及び収支予算書について
第2回理事会 (書面決議で実施)	5.3.28	1. 令和5年度事業計画及び予算書の承認 2. 令和4年度事業の進捗状況及び予算管理の中間報告 その他

11. 会員の異動

現在まで、加入、退会ともに有っていない。

会員の異動状況

5.3.31 現在

会 員	期首会員数	期中の動向		期末会員数
		加 入	退 会	
荷 受 組 合	11			11
配合飼料製造業者	11			11
特 約 店	5			5
畜 産 経 営 者	1			1
合 計	28			28

事業報告の附属説明書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成しない